昭和25年5月6日第三種郵便物認可 ©鉄鋼新聞社 2016

大径中径鋼管
丸八鋼管KK
本社 千葉県浦安市鉄鋼通り1-1-8
東京営業所 電話〇四七(三五二)〇八〇八(代)
仙台営業所 電話〇二二(三八八)〇八〇八(代)
◀在庫寸法▶
STK 21.7㍉より1219.2㍉まで
STPY 350Aより1200Aまで

4月11日
2016年
(平成28年)
月曜日
第18567号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology
鉄鋼新聞

発行所 株式会社 鉄鋼新聞社
本社 東京都千代田区神田神保町1-101 神保町101ビル
編集局 ☎03(5259)5203 FAX03(5259)5209
業務部 ☎03(5259)5202 FAX03(5259)5208
大阪支社 ☎06(6445)6935 FAX06(6445)6938
名古屋支社 ☎052(735)6556 FAX052(735)6557
http://www.japanmetaldaily.com
Eメール:info@japanmetaldaily.com

橋梁用CT形鋼
(SMA400AW,SS400)
CHIKUMA KOZAI CO.,LTD.
千曲鋼材株式会社
本社 浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー15階
☎(047)354-5721(代)FAX(047)352-7084
URL http://www.chikuma-kozai.co.jp/

## トップインタビュー 大競争時代の鉄鋼経営

### JFEスチール 柿木厚司社長

# 規模も武器、FHS社を活用

――JFEスチールの15年度連結経常利益見通しは300億円。特に単独ベースでは、かなり厳しい業績でした。自己評価と分析を。

「15年度は14年度に比べて1600億円程度の減益だった。中国発の供給過剰が引き起こし変化。た実力向上を急ぐ」

――その分コストは上がりますが、厳しい収益下でも見直しや延期はしませんか？

「修繕費や保全費などコストを削れば目先の短期的な収益は良くなるが、それはやらない。15年度から3年間で6500億円の国内設備投資を実施する方針は変えない。私の社長在任期間は、その先の時代に備えて、人と設備の基盤整備を進める期間だと考えている」

――現行中期計画では、JFEブランドの販売量を3200万㌧から4千万㌧に拡大する方針。手応えは？

「中期計画どおり17年度に達成するのは難しいと考えているが、まず年4千万㌧を達成し、その先に5千万㌧を目指す旗は降ろさない。鉄鋼メーカーにとって数量規模は武器の一つだ。今は世界トップ10にギリギリ入っているが、ベスト10のポジションを維持したい」

### ベトナムFHS社は「5番目の鉄源製鉄所」

――JFEブランド拡大のけん引役はベトナムで台プラが進める高炉一貫製鉄所（FHS社）への資本参画（5%）ですね。

「FHS社がコスト競争力のある鉄源基地になることが前提だが、現在JFEスチールが輸出しているもののうち、東南アジア向けのボリュームゾーン製品（熱延コイルや半製品スラブなど）につき、FHS社に移管する考えだ。当社として福山、千葉に次ぐ5番目の鉄源製鉄所拠点にする、との思いで取り組んでいる。有効に活用してJFEブランド拡大につなげたい」

――JFEブランドは、国内生産分の販売量を17年度までに200万㌧（うち100万㌧は自動車向けで）増やす計画。

「自動車向けは海外への直接販売に加え、現地生産向けの原板輸出も増やしていく。残りはエネルギー・インフラ分野向けに重点を置く。エネルギー向けは苦戦しているが『お客様とともに成長するJFE』を標榜しており、数量の拡大を図りたい」

――製鉄所別にみると、東日本製鉄所のコスト高が目につきます。特にプリキ（缶用鋼板）やステンレスを抱える千葉地区が厳しい。

「たしかに西日本製鉄所より東日本の方が、上工程コストが高い。コークス老朽化が激しい千葉地区でコークス能力増強の計画がすべて完了する17年度後半には、上工程のコスト競争力が確保できる。京浜地区は上工程の力は持っており、今進めている一次ミル（熱延ミル、厚板ミル）の強化策が完了してコストが下がれば、存立基盤は十分にあると考えている」

――その上で、千葉地区の将来像をどう考えますか？

「ブリキは福山と千葉で製造している。ブリキの先々の需要をどう見るか、どこでどう造るのが良いのか。よく考えた上で、ステンレスなどと合わせ千葉が何を造って生き延びていくのかが今後の課題だ。需要地に近い特性を生かし、都市型のコンパクトな製鉄所として残していく」

――事業会社に目を転じると、化学分野での業績悪化が目立ちます。

「15年度は、14年度に比べてグループ会社で計150億円程度の収益悪化だった。電炉（JFE条鋼）は増益だった。高収益会社だったJFEケミカルが原油価格安を受けた製品安により収益が大きく下振れた」

（一柳 朋紀）

2面に続く

## JFEブランド4000万㌧ 「17年度達成は難しい」

---

## 新日鉄住金系
# 油井管継手加工2社が合併
## 7月、「日鉄住金精密加工」発足

新日鉄住金は8日、100%子会社で油井管継手加工事業・精密機械加工事業を手掛ける日鉄住金ファインテック（本社・大分県中津市、社長・中村原市、社長・洞秀樹氏）と日本チューブラーブ（本社・大阪府柏正法氏）を合併して、7月1日付で新会社「日鉄住金精密加工」を発足させると発表した。

両社がこれまで培ってきた精密加工技術・ノウハウを融合して、油井管継手（カップリング）の最適な生産体制の構築とコスト競争力の向上をめざす。油井管以外の機械加工分野についても、顧客ニーズへの対応力を強化していく。

合併は日鉄住金ファインテックを存続会社、日本チューブラーブロダクツを消滅会社とする吸収合併方式。本社は大阪府柏原市に置く。

▽電話＝072―331―9996
▽FAX＝072―331―9998

## リオ社の対日出荷50年
# 進藤・新日鉄住金社長
# 鉄鉱石の安定供給に謝意

進藤社長

「日本、豪州の鉄鉱石取引は両国間の相互補完関係の礎です」と強調するのは、新日鉄住金の進藤孝生社長。英豪系資源大手リオ・ティントが先週都内で開いた鉄鉱石対日出荷50周年の式典で挨拶した進藤社長、長年にわたる同社の鉄鉱石供給に対し、改めて感謝の意を表した。

挨拶では、鉄鉱石が鋼材となり、自動車や家電、橋梁、鉱山機械などに生まれ変わるサイクルに触れ、自身の座右の銘でもある「オナー・イズ・イコール」を披露。「（リオ社の鉄鉱石からはじまる）大きなサプライチェーンの中で、日本の鉄鋼業にかかわる各業界各社が社会的な使命を果たしている。役割は違っても名誉は等しいのです」。

リオ社（当時はハマスレー・アイアン）が60年代に西豪州で鉄鉱山開発を成功できたのは、日本の高炉メーカーが引き取り保証などでサポートしたことが大きい。その経緯を紹介しつつも、「セーム・ボート、セーム・クルー」と、両者の関係が平等であることを強調。「引き続き鉄鋼業の良きパートナーとして長期的な供給を維持してほしい。将来にわたって共に歩を進めていきたい」と話した。

# 南大阪営業所を開設
## 小野建 大阪府南部・東部 年商50億円に拡大

小野建は、5月9日に南大阪営業所を開設し、大阪府南部および東部の営業を強化する。同社の堺スチールセンター（堺市堺区）に移転する子会社の三協則武鋼業（大阪府松原市）の跡地を活用する。当面は営業活動だけを行い、三協則武鋼業の設備が移転次第、順次在庫を増やしていく。営業所開設に伴い大阪府南部および東部での年商を現在の30億円から50億円に、月間販売量を3千㌧から5千㌧に引き上げていく。

同社は、大阪府南部（和泉市、八尾市、岸和田市、羽曳野市など）、大阪府東部（東大阪市、大東市）に製缶関係などのユーザーを多く持っており、大阪支店から営業活動を行っている。販売先の近くに拠点を持つことで、小口即納などよりきめ細かな対応が可能になることや三協則武鋼業の跡地を有効活用するために、南大阪営業所を開設することにした。

南大阪営業所は、敷地が約7600平方㍍。大阪支店から大阪府南部および東部の担当者9人が移る。需要動向、ユーザーニーズを見ながら在庫を増やし、加工設備の設置についても検討していく。また堺スチールセンターの中継地としても活用する。所長には、場谷政仁大阪支店鉄鋼部次長が就任する。

南大阪営業所の住

多様化するニーズにお応えする
表面処理鋼板
古賀オール株式会社
東京工場 北関東支店・工場 東北支店・工場 中信越支店・工場
本社／東京都中央区日本橋小伝馬町7-2
〒103-0001 TEL.03(3666)1331(代)
http://www.koga-all.co.jp

## H形鋼の物件向け価格
# さらに2千円引上げ

ヤマトスチール

ヤマトスチールは、H形鋼の物件向け価格をきょう11日から2千円値上げすると発表した。物件向け価格は3月23日から2千円値上げを実施している。値上げ後、需要家からの引き合いが増えている一方、原料の鉄スクラップ価格の上昇などでコスト高になっており、連続値上げでコスト高を吸収していくとともに、店売り市場も含めた製品市況全体の底上げを支援していく。

同社によると、3月の値上げ以降、需要家からの引き合い増で4～6月分の受注枠が建築向けを中心にある程度確保できたほか、7～9月はさらに実需増が見込まれる、としている。

土木向けも、公共投資予算の前倒し発注の広がりで、下期から需要拡大が見込まれるとしている。

ヤマトスチールのH形鋼は、販売の70%強が物件向けで、価格を引き上げることで収益改善が図れる。工場のある姫路地区も他地区同様に3月半ばからスクラップ価格がトン5千円前後反騰しており、コスト高になっている。

### きょうのニュース

2 「岡谷鋼機の経営課題」へ岡谷社長〉
3 愛鋼、衣浦工場に新工場棟建設へ
4 非鉄 アルミスクラップの二次合金大手資本、据置き
5 流通 鉄鋼新人・中堅社員教養講座開く
6 北日本 マルキンサトー、需要ピーク対応力を強化

松田商工グループ
角パイプのR曲
短納期対応!
浦安鉄鋼団地内
東工建 株式会社
〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り1-1-5
TEL 047-354-1811
FAX 047-354-2230
東工建 検索

## 金属行人

先日、安倍晋三首相が16年度予算を前倒し執行するように指示した、と報じられた。停滞傾向の景気を刺激することが目的で、公共事業は上期で全体の8割程度にあたる10兆円規模を契約済みにするという▼これは建設用鋼材需要にとっては朗報だ。特に土木分野は公共投資予算の減少が目立ち、需要は伸び悩んでいる状況にある。建築需要も建築着工統計などの数字は堅調に推移しているが、鋼材実需は停滞感が色濃かった▼今回の措置はこうした閉塞感を打開する一手となるかもしれない。ただ、肝心なのは予算の配分だ。そもそも治山治水を中心とした土木関連の公共投資予算は減少傾向にあり、土木用鋼材を扱うメーカーは軒並み当該分野の建材売上げが減少している▼今後、リニア中央新幹線や大型道路プロジェクトなどの工事案件は相当な規模が見込まれているが、基本的には期限の決まっている東京オリンピック・パラリンピックに関連した需要が中心となる可能性が高い▼そうなると治山治水などの案件は後回しとなることも想定される。厳しい自然環境下にある日本は、世界的に自然災害が激甚化する中で防災・減災など国土強靭化が急務だ。こちらも早期の具体化が求められているのだが。

亜鉛メッキ
ロールフォーミング製品
明治鋼業株式会社
東京・神田 ☎03(3861)0131
http://www.meiji-kohgyo.co.jp
軽ミゾ形鋼 1.6×40×20 ∫ 3.2×300×50
リップ溝形鋼 1.6×40×20×10 ∫ 3.2×300×75×25
キーストンプレート 0.8×650×25 ∫ 1.2×650×25
軽山形鋼 2.3×25×25 ∫ 4.0×60×60
デッキプレート（V50・V50A） 1.2×614×50 1.6×614×50
スチールハウス形鋼
合成デッキMA50・MA75 1.2×600×50・75 ∫ 1.6×600×50・75
Uデッキプレート 1.0×600(690)×75 ∫ 1.6×600(690)×75